

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Kings オックスフォード英語研修
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	5 万 円	スーパーマーケット、外食
図書費・学用品費	0 円	授業中は配られたプリントを使い、ノートは1冊無料で配られた
携帯・インターネット費	0 円	事前に SIM カードを買っていたため
現地通学費	0 円	(研修先まで徒歩25分)
教養娯楽費	1 万 円	学校のアクティビティ代
被服費	2 万 円	Oxford University のパーカーなど
雑費	7 万 円	お土産代など
その他	5 万 円	例:遊びに行くときの交通費
合計	20 万 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意したものの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
基本的にキャッシュレスだったので、クレジットカードやデビットカードで支払った。VISA はどこでも使えた。エラーになることがあるので2枚以上持っていると良い。スマホにカードを入れておくと便利。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
SIM(海外携帯 ICHIBA) 問題なく利用できた。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
長時間のフライトだったので、ネックピローが役立った。箸や食事の箸、保存用や弁当用のタッパー、バックライス、フリーズドライのみそ汁を持って行って良かった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
LINEにTSS海外危機管理サポートデスクを追加して確認した。スマホは紐をつけておき常に首から下げていた。小さめのショルダーバッグに貴重品を入れて、上からジャンパーを着た。パスポートは寮の鍵付きスーツケースに入れておき、コピーを持ち歩くようにしていた。犯罪に巻き込まれなかった。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
Wi-Fiが繋がっていない店内や屋外で圏外になることが多かった。お店で使いたいときは、店員に聞くとWi-Fi名とパスワードを教えてくださいましたのでスマホを使えた(教えてくれないところもあった)。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) 共有する部分はあるが個室があるのでプライベート空間が保たれていた。業者の方が週に一度入ってくれるので、ゴミもたまりすぎず快適に過ごせた。靴で歩く作りなのでサンダルを持っていくと便利だった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 良かった点 色々な国の出身者が集まっているので、他の人の話を聞いて勉強になったこと。毎週テストを受け、成績によって上のクラスに行けること。 良くなかった点 日本人が多い語学学校だったので、授業以外はほとんど日本語を話していたこと。
2)課外プログラムについて サッカーやアフターヌーンティー、観光地ツアーなど、様々なアクティビティに参加した。通常より安い料金のツアーもあった。
3)現地での生活に関すること 寮生活で自炊だったため、近所のスーパーをよく使っていた。外食は非常に高いため、費用を抑えたい場合は自炊をするとうまい。寮のシャワーが水しかでなくなるときがあった。日本より寒いので、現地でセーターやダウンジャケットなど買い足している人もいた。drinking water と書いてある水道水はそのまま飲んでも問題なかった。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 基本的に、同じ語学学校に通う人とは交流はない。授業やアクティビティで仲良くなり、それ以外で交流することがあった。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 アクティビティの後パブに行ったり、学校で会ったあとにカフェへ行ったりした。Instagram を通じて交流することもあった。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 信号無視は当たり前、横断歩道が少ないためどこでも渡る。授業中に手を挙げずに次々と発言する人が多かった。たまに街や語学学校の学生に差別的なことを言われたり、態度から感じたりすることがあった。授業中にお手洗いに行ったり、水を飲みにも席を外したりする人がたくさんいた。また、シャーペンや鉛筆を使う人もいたが大半はボールペンを使っていた。イギリスはよく雨が降るので、雨が弱いと傘をささない人の方が多かった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は海外経験がほとんどなく、実家暮らしで家事にも慣れていないため、今回の留学がどうなるかわからない不安でした。しかし、実際にしてみると色々なことを自分でやらなければならない環境で、今までやっていなかっただけでできることもあったと気づきました。逆に自分だけではどうしてもできないことがあり、限界を知る良い機会になりました。空港で初めて会ったメンバーで3週間生活するというのも、人間関係の構築や生活する上での助け合いという面で自己成長につながったと思います。また、明治に来る留学生のボランティアを何度かしてきましたが、自分が留学生として行くと全然違うように感じました。例えば、日本に来る留学生は大半が日本に対しポジティブな印象を持っていますが、街や語学学校には日本人を差別するような人がいました。日本にいて差別されたことがなかったので、世界を知るという意味で良い経験になりました。今までの学生生活は積極的に行動することが少なかったですが、留学を通してこれからは面倒だからと言い訳せず、興味があることには何事も取り組みチャンスを見逃さないようにしたいと考えようになりました。短期留学は海外慣れしていない人にとっても挑戦しやすいと思います。留学してマイナスになることはないと感じたので、迷っている方はぜひ検討してみてください。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Kings オックスフォード英語研修【夏季】
-----	------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	80000 円	外食等
図書費・学用品費	0 円	初日のオリエンテーションでノートとペンがもらえる
携帯・インターネット費	10000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 20 分)
教養娯楽費	10000 円	
被服費	20000 円	朝が寒く、現地でパーカーを購入した
雑費	25000 円	お土産等
その他	30000 円	例: カレッジ観光、アクティビティ参加費
合計	175000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
基本的にクレジットカードで支払えた
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM Klook の eSIM を利用した
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

お箸やスプーン、マグカップを持っていくと便利、(寮にスプーンはあるが、数が限られている)

ご飯

寮にドライヤーやシャンプー類がないので持参する必要あり

日本のお菓子を持っていくと

現地情報	
1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)	
☒ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:	
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?	
犯罪に巻き込まれることはなかったが、貴重品を小さめの前掛けバックの中に入れる、荷物を置いたまま離れない等の対策を行った。	
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。	
場所によっては回線が遅くなったりすることもあったが、基本的に困らずに使用できた。	

滞在形態関連	
1)留学中の滞在先の種類	2)部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 2人)
3)共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
部屋は比較的綺麗で、食器類や調理器具も一通り揃っていた。しかし、箸はなくスプーンも数が限られているため、持参した方がよい。中心街にはTescoというスーパーやソウルプラザというアジア系のスーパーがあるため食材調達には困らないと思う。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
良かった点:授業内では、ペアワークや発言を求められる場面が多く、自分の意見を英語でアウトプットする良い機会となった。また、先生はネイティブでない生徒の対応に慣れており、授業の雰囲気もアットホームで発言がしやすい環境だった。 良くなかった点:レベル分けの基準が Reading と Grammar によって判断されるため、クラスのレベルが高くなってしまい、Speaking や Listening の面で付いていけない可能性がある。
2)課外プログラムについて
平日は、オックスフォード内のカレッジツアーやバンティング等のアクティビティ、土日はケンブリッジやブライトンへのワンディツアーなどがあり、活動を通じて普段関わりのない人との交流を行うことができた。
3)現地での生活に関すること
とにかく物価が高いので、できるだけ出費を抑えたい場合は、スーパーで食材を買って自炊の方が良い。交通機関については、バスが頻繁に通っているので困ることはない。気温については朝が一番寒く(半袖では寒い)、昼になるにつれ温かくなり、夜は比較的過ごしやすかった。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
授業中に仲良くなった人たちとお昼を一緒に食べに行ったり、放課後一緒にオックスフォード観光をした。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
プログラム外での交流では、一緒にお互いの国のご飯を食べに行ったり、ビリヤードやパブを通じて文化交流を行なった。また、ケンブリッジやブライトンツアーでも一緒に観光した。最終日にはこれまで仲良くしてきた人たち全員を集めてパーティを行なった。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
海外の人はとにかくフレンドリーで、コミュニケーション能力に長けていること。挨拶の際には握手やハグを欠かさずに行っていた。授業中も積極的に自分の意見を発言していた。 赤信号を平気で渡っていたことにも驚かされた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

3 週間という短い期間でしたが、私にとって人生の中でかけがえのない貴重な経験となりました。英語を話すことへの不安や恥ずかしさがなくなっただけでなく、世界中から集まった多様な価値観をもつ仲間たちと楽しく交流できたことが、最も大きな収穫だったと感じています。毎日が新しい発見と挑戦の連続で、1 日たりとも暇な時間がなく、これまでの人生で最も充実した 3 週間でした。留学は勇気のいる一歩ですが、その先には必ず新しい学びと成長、そして広い視野が待っています。後輩の皆さんには、ぜひ恐れず挑戦し、自分の可能性を広げてほしいと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Kings Oxford 英語研修
-----	-------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	13万 円	物価が高いため、友達と外食する機会が高頻度だとこなります
図書費・学用品費	0 円	学校側から無料で配布されるため
携帯・インターネット費	1万5000 円	WIFI レンタルをしたため、そのレンタル費用
現地通学費	0 円	(研修先まで 25 分)バスも使えるが、毎日徒歩通学したため。
教養娯楽費	4万 円	学校側が用意するアクティビティに毎回参加してため
被服費	7万 円	休日に友人とお買い物に行った際の出費
雑費	4万 円	休日に友人とお買い物に行った際の出費
その他	円	例:
合計	29万5000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
 現金の用意方法: 用意しましたが、ほぼ使う機会がないので用意しなくてもいいと思います。
 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート 両方必須です。

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
 カード支払いがメジャーな国です。現金が使えないお店の方が多いので、クレジットカード及びデビットカードの準備をおすすめします。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
 私は WiFi を日本でレンタルし持っていました。寮の Wi-Fi は弱いので、海外 SIM など何かしらの準備をおすすめします。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
 意外と食事面でのストレスが多いので、フリーズドライ食品など手軽に持ち運べる日本食があると大変助かります。日用品などは、万が一持って来るものを忘れても、意外に現地ですべて揃います。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
 外務省の海外渡航安全ホームページをチェックし、万が一に備えました。特段被害には合いませんでした。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 特に問題ありませんでした。WIFI レンタルおすすめです。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

部屋のベッドのシーツ交換が1週間に1回なので気を付けてください。部屋のシャワーが冷水しか出なくなることがあります。問題が発生したらすぐケアタイカーさんに言いに行きましょう。洗濯機有料かつカード支払いのみ対応なのでお気を付けて。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

研修先の授業では、積極的な授業参加が求められます。授業ではグループディスカッションやグループワークがメインです。先生も頻繁に指してきます。最初は気が滅入るかもしれませんが、授業とても楽しいです！周りの生徒も積極的に発言する子が多いので、かなり画期的な授業になる上、友達もたくさん出来ます！英語苦手でも問題ないです！一生懸命話せば伝わります！

2)課外プログラムについて

事前にカウンターで申し込みをすることで、学校側が用意する授業後のアクティビティに参加できます。お金がかかる場合がほとんどですが、参加することで友達もたくさんできるので、是非参加してみてください！アクティビティの内容は毎週変更され、土曜日にはケンブリッジなどへの日帰り旅行もあります。

3)現地での生活に関すること

とにかく物価の高さに驚くと思います。特に友人とパブなどに行くことになったら、お会計が本当に高額になります。お金関係の準備は念入りにしてみてください。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

授業内のグループ活動が活発であること、また自分自身がアクティビティにほぼ全部参加したことから友達はたくさん出来ました。連絡は基本インスタがメインで、ラインは全く使いません。帰国後も頻繁にやり取りをしています。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

アクティビティなどで仲が深まった後、インスタ交換をし、学校外でも合わないか、といった流れになりました。古着が好きな子とは一緒に WESTGATE という大型ショッピングモールで古着屋巡りをしたり、トルコの友人がおすすめしたご飯屋さんにみんなで行ってトルコ料理を紹介していただいたり、他国の留学生の寮にお招きしてもらい、ビリヤードを一緒にしたりしました。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

察する、空気を読むといった文化が存在しないため、言葉を通じたコミュニケーションが最重要視されるということです。何か言いたいことがあったら、しっかり口に出して発言し、意思表示しましょう。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

最初は慣れない授業スタイルや、英語でのコミュニケーションが強いられることに相当のストレスを感じるかもしれませんが、授業内でも発言求められる上に、周りの生徒は大抵自分より英語が話せる環境です。しかしながら1歩踏み出してアクティビティに積極的に参加してみたり、授業に前向きに参加してみてください。周りは自分たち日本人のことを知っていたり、こちらが話しかけてみるととても楽しそうに対応してくれます。良くも悪くも、自分から踏み出さないと何も変わらないのが留学です。しかしながら自分から行動し求める者に対しては、大変良い機会を提供してくれます。今回の留学は、自分の殻を破れるとても意味のある留学だと思います。是非1歩踏み出して、楽しい留学生活を送りましょう！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Kings Oxford 英語研修
-----	-------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約60000 円	TESCO というスーパーは比較的安いです。
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5500 円	eSIM 利用 20GB/30 日
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩30分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	約12000 円	
雑費	約30000 円	寮にない調理器具など
その他	約120000 円	例:お土産、アクティビティ
合計	約227500 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
一部カードのみ対応の店があったため、カードが最も役に立ちました。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Airalo が提供する eSIM を利用しました。滞在期間にあったプランを選べるところが良かったです。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
寮にドライヤーがなかったため、ドライヤーを準備して助かったです。現地での食費を抑えるためにパスタなどを準備しておいたほうがいいです。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
危険地域情報については調べませんでしたが、外出するときは肩掛けバッグのようなコンパクトな物を持って行きました。犯罪には巻き込まれませんでした。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
歴史的な建物以外では、かなりスムーズに接続できました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 2) 部屋の形態

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル ☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 3 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
しっかりと自分専用の部屋も用意されています。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
授業内で多くの子と交流できたのは良かったです、寮から学校までかなりの距離があることが良くなかったです。
2)課外プログラムについて
課外のアクティビティでは、留学生たちとボーリングに行ったり、観光名所を見て回りました。
3)現地での生活に関すること
現地では朝食はトースト、昼食はサンドイッチ、夕食はパスタがメインでした。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
プログラム内では特になし。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
同じクラスになった子と一緒に授業内の問題を解いたり、朝食を食べに行ったりしました。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
イギリスでは、レストランなどでかなりの量を食べ残す人が多く、フードロスに関して意識が低いと感じました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

今回の留学を通して、積極的に自ら会話を持ち掛け、コミュニケーションをとることを意識しました。質問をして相手が出した答えについて、そう考えた理由を聞いてみたり、自分の意見を言ったりすることで、より会話が弾むということを実感しました。また、地域に関係する質問では、その質問について日本ではどのような答えになるのかを伝えと、お互いの理解が深まるということを感じました。日本とは違う海外の文化に触れることだけでなく、自分の伝えたいことを頭の中でまとめてから、自分の考えた文章のどの部分を強調して話すべきか、相手が出してくる質問にどう答えたら会話が面白くなるのかを意識してコミュニケーションに臨むことができました。この貴重な経験を自分の進路に繋げていこうと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Kings オックスフォード英語研修(運営:CIE)【UTS】 B 日程
-----	--------------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	57,134 円	自炊:17,286 円、外食:39,848 円
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2,400 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩 20 分)
教養娯楽費	35,300 円	お土産、観光地の入場料など
被服費	円	
雑費	2,970 円	郵便代、洗濯代など
その他	9,748 円	例: オックスフォード市内交通費、ロンドンまでの交通費
合計	107,552 円	1 ポンド=200 円で計算しています。

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
 現金の用意方法: デビットカードでのキャッシング
 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
 デビットカード: 使用した金額がリアルタイムで把握できる点、日本にいる家族にお金を追加してもらうことが出来る点が便利でした。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
 SIM カードを用意しました。私が利用した giffgaff の SIM カードは、日本国内の自宅へ郵送してもらえるため、出発前に余裕をもって準備できました。また一緒に行動していた友人よりも繋がりがやすかったです。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
 ● 撥水機能のある靴 ● 羽織るもの(8 月末～9 月上旬: 朝 13 度 屋 20 度といった日が多いため)
 ● 到着してから到着した日と次の日の朝食 ● インスタントのおにぎり ● ジェルボールタイプの洗濯洗剤 ● ハンガー等

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
 語学学校の初回ガイダンスにて、注意事項・防犯対策を教えていただいた。(例: ポケットに貴重品を入れない。席取りのために安易に荷物を置かない等) 実際に問題に巻き込まれたことはありませんでした。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 ロンドンの地下鉄以外では問題なく繋がりました。
 イギリスでは利用できない日本のサービスがあったので、VPN を契約してから行くことより良いと思いました。(1 か月の無料お試しサービスがある場合が多い為)

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
とても乾燥するので、のど飴などがあると安心かもしれません。 洗濯物を干せるものがないので、ハンガー等の持参がおすすめです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
授業スタイルは「その日学習した文法を使ってペアと会話をする」ことが中心でした。このような授業スタイルから、授業に参加するには、会話力と自分の意見を持つことが必要だと感じました。 授業では、先生が毎日違うペアにて活動できるように配慮してくれるため、様々な国や地域の人たちとコミュニケーションをすることが出来ました。
2)課外プログラムについて
日本人しかいない寮で生活している私にとって、課外プログラムは、授業以外で英語をアウトプットできる良い機会でした。 また参加者は同世代が多く、親しくなりやすかった上、プログラムも観光やスポーツが中心だったため、気分転換になりました。 他にも日本人を対象とした発音口座やオックスフォードの歴史など勉強になるプログラムもありました。
3)現地での生活に関すること
オックスフォードは治安がよく、安心して過ごすことが出来ました。 スーパー(特にTesco)の商品が安いので、自炊中心の生活になると思います。 寮は街の中心部から少し離れていましたが、街自体がコンパクトなので、交通費はそれほどかかりませんでした。 朝は晴れていても、急に雨が降るので折り畳み傘は携帯しておくこと。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
語学学校の授業はペアワークが中心だった為、様々な国のの人たちと交流することが出来ました。 授業外では、課外プログラムで他の参加者と話したり、仲良くなった人と食事に行ったりと交流の機会がありました。語学学校の生徒は、境遇が似た留学生同士、拙い英語でも歓迎してくれ、英語上達のアドバイスをもらいました。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
学校のプログラム以外では交流しませんでした。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
日曜日は店が早く閉まってしまう。 路上喫煙が許されている為、煙の臭いがする。 授業中、他の生徒は「自分の考えをまとめ、英語で話す」ことを当然のようにやっていましたが、自分は苦手に感じていたので、慣れるまで苦労しました。文法や単語など知識面に関しては困らなかったです。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

オックスフォードはコンパクトで過ごしやすい街でありながら、有名なカレッジや博物館が点在しており、とても魅力的な場所でした。 また、語学学校にはヨーロッパはもちろん、中東、南米、アジアなど、世界中の様々な国から学生が集まっており、多様な文化に触れる貴重な経験ができました。 イギリスの生活環境は日本と似ている点が多く、すぐに馴染むことができました。一方で、語学学校の授業は主体性が求められるスタイルで、慣れるまでは少し戸惑うかもしれません。 しかし、このプログラムの大きな魅力は、寮に帰れば相談できる日本人の仲間がいることです。私にとって、その存在はとても心強かったです。 このように、生活の不安なく自身の能力向上に集中できる環境は、まさに理想的です。参加を迷っている方がいれば、ぜひ一歩踏み出すことをお勧めします。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Kings Oxford 英語研修
-----	-------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	28000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	17000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで徒歩 20 分)
教養娯楽費	24000 円	
被服費	円	
雑費	8000 円	交通費
その他	27000 円	例:お土産、観光代
合計	104000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本での両替
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
SIM カード(ドコモ)
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
寮の設備が少なく、自炊がしにくい環境だったので、食費を抑えるためにも日本からもっと食料を持って行けばよかったと感じた。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
オリエンテーションとそこで紹介されたサイト。スキミング防止のパスポート、クレジットカードは別々の場所にしまうなど。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
建物に入るとネットが繋がりにくかったのが、フリーWi-Fi が役立つ。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
外食は高くつくので日本から食料を多く持参した方がよい。八月とはいえ日本とは寒暖差が大きいため厚手の服を持参すべき。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 最初のテストで、クラスが振り分けられるので自分と同じレベルの学生たちと勉強することが出来た。少人数制で、会話メインの授業が多かったため、積極的に話しかける姿勢が身に着いた。
2)課外プログラムについて 自分の好きなアクティビティを選んで参加できる点は良かった。クラスのメンバーや先生も定期的に変わるのでたくさんの人と交流を持つことが出来た。
3)現地での生活に関すること どのお店の人も拙い英語であっても、親切に接してもらうことが出来た。イギリスでは室内喫煙が禁じられており、外で吸っている人が多く、街を歩いていると煙たく感じたので、苦手な方は注意が必要。現地の人に限らないが、香水の匂いが強いのも気にかかった。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 パンティングやスケートなどのスポーツ系のアクティビティから、パブやワインセラーでの談笑など幅広いアクティビティが用意されており、現地学生と仲良くなるきっかけがあり、交流をたのしむことができた。休日にも一日出かけるイベントが毎週あり、参加することで多くの学生と交流が可能。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 ロンドンに行った際には各観光地では質問をすれば親切に説明してもらうことができ、他の観光客の人たちとも交流を持つことが出来た。しかしバスや船の乗務員の人たちは時間を気にしているせいか、あまり取り合ってくれなかった。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 日本と大きく異なると感じたのは街並みについてだ。石造りの伝統的な建物が立ち並んでおり、街のいたるところで工事が行われていた。イギリスと日本の価値観の違いを明確に実感した。日本よりも多種多様なバックグラウンドを持つ人たちが集まっており、日本人が目立つこともなかった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

今回は私にとって初めての留学で、英語の技能向上はもちろん、コミュニケーション能力を鍛えることができた。加えて親元を離れた寮暮らしを行う中で、自分の行いに責任を持つ心や忍耐力が養われたと感じる。また、学校が休みの休日には一人でロンドンなどを観光をしたことで、人頼みにしない自立心や何事にも動じない対応力、計画力、行動力が身に着いた。 アドバイスとしては、尻込みせずに何事も挑戦してみることで新しい世界が開け、自身が身につくので積極的に行動することが何より重要だと思う。外食は高くつくので、現地で食材を調達するか持参するなどして程よく自炊すると節約につながる。オックスフォードの町は見どころが多いので、バスを使わずに歩いてみることで新しい発見があるのでおすすめ。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Kings オックスフォード英語研修(イギリス)
-----	--------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	43060 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	8478 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩20分)
教養娯楽費	69720 円	ロンドンで3回観劇した。
被服費	5000 円	意外と寒かったのでお土産も兼ねてパーカーを買った。
雑費	32466 円	お土産代、洗濯代、アクティビティ参加代
その他	12300 円	例:ロンドンへの交通費(バス)
合計	158724 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 羽田空港で 15000 円を両替 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください クレジットカードでの支払いが最も多かった。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 案内パンフレットに同封されていた、海外携帯 ICHIBA の「イギリス・ヨーロッパ SIM カード PLAN—L」を用意した。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか 助かったもの: サトウのご飯、味噌汁の素、貴重品をいれるボディバッグ 準備したほうが良かったもの: 計量カップ、ハンディファン、水筒、ぬれマスク

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ 「海外安全アプリ」をインストールした。事前学習でスリの危険性を学んだので、財布や鍵はボディバッグにいれるようにし、スマホはストラップをつけて持っていた。スリや犯罪に巻き込まれたことはなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 屋外で時々Google マップ検索などができなくなることがあった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類 ☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	2) 部屋の形態 ☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 3人)
3) 共有部分 ☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) 他の部屋が肉を焼いて煙を出し、全部屋で火災報知器が鳴って驚いた。管理人さんが対応してくださっていた。猫のジョージは朝と夜に部屋の前に来るが多かった。
--

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 寮生活でプライベート空間が確保されているのが良かった。同じ部屋の人は全員日本人だったので、困ったことがあれば助け合えた。授業は初日のテストでレベル分けされるので、理解に困ることはなかった。
2)課外プログラムについて アクティビティは他国からの留学生と仲良くなれる機会だった。
3)現地での生活に関すること アジアからの観光客が多かった。寮から学校まで徒歩20分だが、毎日往復すると意外と慣れてくるので通学にバスは使わなかった。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 休み時間にカフェやマーケットに行ったり、お昼休みに一緒に御飯を食べに行ったりした。アクティビティに参加すると、クラスメイト以外とも交流できた。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 授業内でペアワークをするとき、自分の意見の根拠を説明できないと相手に納得してもらえないと感じた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

行きの飛行機内がものすごく乾燥していたので、喉が辛かった。ぬれマスクがあったら便利だと思う。 食料品の買い出しでは TESCO と Sainsbury's によく行ったが、個人的には Sainsbury's のほうが美味しかった。どちらも野菜が安かったが、肉はちょうど良い大きさのものが見つからなかった。既製品を買ったり、お店で食べたりすると日本の1.5倍くらいの値段だった。学校終わりに外食するなら、カバードマーケットが近くてたくさんお店があっておすすめ。 授業初日に文法・作文テストと面接があって英語能力別にクラス分けされる。全部で8レベルあるが、中級のレベル4では10~15人クラス中3~4人は日本人で他にはトルコ人とサウジアラビア人が多かった。月曜に復習テストがあってクラス変動があるシステムだったが、多くの人は同じクラスのままだった。 アシュモレアン博物館や自然史博物館は無料で入れるので、休日はかなり混んでいた。ポドリアン図書館の入館はツアー参加予約が必要だが、ネット予約は満席だった。 現金は屋台でしか使わなかったが、友達と割り勘するときにコインがあったら便利。(paypay や日本円でもやりとりできるので、なくても大丈夫だった) 週末は Oxford Tube という高速バスに乗ってロンドンに遊びに行ったが、迂回で小一時間延着することもあったので時間に余裕を持ったほうが良い。Oxford Tube, Oxford Bus, Citymapper といったアプリを入れるとバス移動が便利だった。 わからないことは気軽にスタッフさんなどに聞く、知らない人でも話しかけるといふ姿勢が身についた。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Kings Oxford 英語研修 & Jesus College 寮滞在
-----	---------------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	10 万 円	1 日 3 食が必要だったため、外食や自炊を含めた費用
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1750 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩 20分)
教養娯楽費	円	
被服費	2万 円	
雑費	8 万 円	
その他	円	例:
合計	20 万 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 出発の当日に空港で換金をした。 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください 交通手段にもカードが使えるキャッシュレスカードが使えるので、全体的に現金より役立った。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 事前に日本で 30 日 15GB の eSIM カードを買った。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか レトルトの日本食や気温差を考えた羽織物を準備していてよかったと感じた。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ 事前学習でそのような課題があったので、インターネットやしおりで調べてまとめてみた。実際には盗難等の犯罪には巻き込まれたことがなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 インターネットに関しては、学校や寮、空港でフリーWi-Fiがあったので、困ることがなかった。しかし、周りの友達もそうだったが、オックスフォードの町では、しばしばギガを使っても Wi-Fi に繋がるのが難しかった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類 ☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	2) 部屋の形態 ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分 ☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) 共用なバスなので、四人目でお湯が出なくなってしまうトラブルなどもあったが、一人だけではなく、みんなで支えながら食事を作ったり、コミュニケーションを取ったりして泊まることができたので心強かった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 全て英語を使って英語を学ぶ授業だったため、英語の聞き取りや理解を鍛えることができた。また、言語学校では、多様な国の学生がいて、異なる英語のアクセントに慣れる機会にもなった。
2)課外プログラムについて クラスの友達だけではなく、新しい出会いや友達作りの場面だった。また、課外アクティビティーではスポーツやその町周辺のツアーもできるので、オックスフォードの町を満喫する一石二鳥のものだった。
3)現地での生活に関すること 平日の午前中は授業に参加し、午後に集中講座が終わったあとはオックスフォード町を巡ったり、友達とアクティビティーに参加したりした。土日はロンドン行ったり、周辺の町などに行ったりしてイギリスを満喫した。食事は基本、朝と夕食は自炊で、昼は外食をしてイギリスの食文化体験もできた。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 私は中国人として、まず現地の学生の中で中国に興味を持っている人々と積極的に交流を試みた。授業で知り合った学生とは、休み時間に簡単な中国語を教えたり、中国や日本を含むアジアの文化について紹介したりした。特に、言語学校にはトルコ人の学生が多く在籍しており、そのため中国・日本・トルコという異なる文化を互いに紹介し合う場面が多く生まれた。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 プログラム外では、現地生徒に誘われて一緒にジムに行く機会があった。みんなで現地にあるジムの月契約を結び、1日おきにジムに通いながら交流を深めた。また、相手の寮で一緒にご飯を作って食事会もした。仲良くなった現地生徒とのお別れをするために、自分たちで食材購入をし、パスタや抹茶などを作ってお互いの文化や趣味を語った。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 イギリスはアフタヌーンティーの発祥国である。日本では、アフタヌーンティーといえばホテルや専門的なカフェで特別に楽しむものという印象があるが、イギリスではより日常的で、街中のレストランやカフェで気軽に楽しむ人々の姿を目にした。また、同じく食文化の一面として、屋間からテラス席でワインやビールを片手に、のんびりと時間を過ごす人々の姿のイギリスの街中で多く見かけた。日本とは異なり、午後の自由時間をより自由でゆったりと楽しむ雰囲気が印象的だった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

英語を十分に使い、現地の学生とのコミュニケーションを楽しみながら、イギリスの観光や生活を楽しむことができた3週間だった。このプログラムを経て最も大事だと感じたのは、自分の英語に恐れることなく、とにかく意思疎通のために言葉を発することだ。言語学校だったため、現地学生の多くも英語が母国語ではなかった。お互いが共通語の英語を使ってコミュニケーションを取っていたので、自分の英語が下手だと恥を感じる必要が全くなかった。何より伝えて、そして伝わった喜びを感動に覚えた。まずは自己紹介から始まり、お互いの国の言語や文化で話を深め、次に個人の趣味や気持ちを伝える。私はこの流れのおかげで、ほとんどの初対面の現地学生さんと仲良くなれたと感じた。 イギリスでの観光や生活に関してでは、事前に調べたいことや行きたいところのリストが役を立った。せっかくの海外なので、自分がそこで何の思い出を残したいのかを悔いなく過ごすために欠かせなかったものだと思う。自分の力ではもちろん足りない場面があるので、仲間や現地の学生のお勧めを聞いたり、一緒に何かをするのを誘ったりして時間を過ごすのもとても甲斐を感じた。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Kings oxford
-----	--------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	37000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6882 円	日本で eSIM を購入
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩20 分)
教養娯楽費	円	
被服費	0 円	
雑費	18500 円	お土産
その他	20000 円	例: 授業後のアクティビティ、ロンドンまでの交通費など
合計	85000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法:

その他用意したもの: ☐ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

基本的にカードでの支払いだったので現金は必要なかった。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

日本で eSIM を購入した。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

思っていたよりも寒かったのでパーカーを持ってきたので助かった。寮のキッチンが思っていたよりも少なかったので自分で多少の食器は持っていたのもよかったと思った。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

スリ対策のためにリュックのファスナーに常にカラビナを付けて開けられないようにしていた。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

特に問題はなかったが屋内に入ると接続が悪くなるので電車やバスなどの情報はスクショするのがおすすめ。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ホームステイと迷っていたが寮にして正解だったと思う。自分で調べてどうしてもわからなかったことや学校からの大事な連絡などを日本語で共有できたのはありがたかった。もちろんホームステイに比べたら日本語を使う頻度は多いが、私はそもそも初めての海外だったので大事なことを日本語で確認したり食事の時間を自由にしていいのはメンタル面において大切だったと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

基本的にペアワークで先生によってはいつも同じペアにならないように配慮してくれたのでいろいろな人と話せた点がよかった。ただ、日本の学校とは違って手を挙げて発言する場面が少なく積極的に話していけないと自分の意見を伝えられないので頑張って慣れていくしかなかった。

2)課外プログラムについて

オックスフォードカレッジツアーやアイススケートなどに参加した。他の人としゃべることがメインではないので自分で積極的に話しかけてクラスの子と授業外で仲良くなることができた。

3)現地での生活に関すること

オックスフォードは思っていたよりも治安が良く観光地が固まっている場所を抜ければ人混みもないのでスリの心配もそこまでなかった。日照時間も長く夏でも過ごしやすい気温だったのでたくさん外に出ることができた。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

オックスフォードの学生との交流はなかった。同じクラスの子とは一緒にランチをとったりした。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

授業後にある学校主催のアクティビティでほかのクラスの人ともしゃべる機会があった。アクティビティ自体はしゃべることがメインの目的ではないものもあるので自分から話しかけに行った。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

店員さんとお客さんとの会話がフランクだった。街中で全くの他人と目が合っても目をそらすのではなくニコッと笑いかけられることがほとんどだった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

初めての海外でしかも実家から出たことがなかったので自炊ありの寮生活もとても不安だったけどどうにか生き残れました。英語力に関しては留学前に勉強せずに来てしまったことを後悔しました。初めのほうは全く聞き取れず周りの日本人の子に全部確認していたのでリスニングだけでもやっておけばよかったと思っています。留学に行ったからと言って語学力が飛躍的に上がるわけではないけどスピーキングに関しては自分が思っていることを瞬間的に英語にするという機会が日本ではあまりないから役に立ったと思います。また、日常の中で使う相槌やフレーズなどは実際に行ってみないと分からないし、三週間もいけば最初は聞き取れなかった先生の話も慣れてきてジョークが多少わかるようになったりするとみんなと同じタイミングで笑えたりするのは自分の中のモチベーションになりました。